

決算修正が必要な額の修正内容別の内訳

- 今回明らかになった決算修正が必要な額（118億2800万円）の修正内容別の内訳は、以下のとおり。

| 【決算修正の内容】 | 病院数 | 要修正額 |
|----------------|-----|--------------|
| 未収金の過小計上の修正 | 49 | 約15億2,900万円 |
| 未収金の過大計上の修正 | 47 | 約12億1,200万円 |
| 簿外処理分の簿内への戻し | 51 | 約9億1,000万円 |
| 計上年度の誤りの修正 | 51 | 約42億3,400万円 |
| 減価償却の償却年数誤りの修正 | 30 | 約14億6,900万円 |
| その他 | 51 | 約24億7,300万円 |
| 合計 | | 約118億2,800万円 |

(※) それぞれの主な内容は以下のとおり。

(未収金の過小計上の修正)

- ・請求保留レセプトの計上漏れの修正

(未収金の過大計上の修正)

- ・レセプトの査定・返戻の処理漏れの修正
- ・未収金の重複計上の修正
- ・入金による未収金の消込漏れの修正

(簿外処理分の簿内への戻し)

- ・簿外口座の戻し
- ・資産（災害備蓄）の計上漏れの戻し

(計上年度の誤りの修正)

- ・3月分費用の4月計上の修正
- ・3月分収入の4月計上の修正

(減価償却の償却年数誤りの修正)

- ・耐用年数の誤りによる償却過剰分の計上
- ・耐用年数の誤りによる償却不足分の計上

(その他)

- ・資産計上すべきものを費用計上していたものの戻し
- ・費用処理すべきものを資産計上していたものの戻し
- ・固定資産の除却漏れの修正

(注) 全社連の平成24年度決算においては、上記の修正のほか、会計制度の変更に伴う決算修正（臨時収益約792億円、臨時費用約259億円）を行うと全社連からは報告を受けている。